

英語科海外ホームステイ研修の初回（7月21日及び22日）の報告をお送りいたします。

小雨の降る中にも関わらず多くの先生方、そして保護者の皆様とたくさんのお見送りの方々にお集まりいただき、生徒代表の気持ちのこもった挨拶からスタートしました。

出発前にご報告させていただいたとおり、成田空港までは予定より早く到着したのですが、搭乗が30分遅れ、そして搭乗後は空港が混みあっており、滑走路までの渋滞でさらに1時間ほど出発が遅れました。ただその後のフライトは順調で、台北空港に到着したのは当初予定より1時間ほど遅れた程度、元々5時間以上もあった乗継時間ですので、問題なく経由地入りとなりました。

台北では空港内ですが、異国の雰囲気を楽しむ様子が見られ、ウィンドショッピングや本場のラーメンにチャレンジする生徒も、さらに翌日訪問するクイーンズランド大学の学生 王さん（中国出身でオーストラリア国籍）に偶然ですが流暢な日本語で話しかけられブリスベンの情報収集ができたり、女子数名が8歳のイザベルという少女に果敢に話しかけわずかな時間ですが仲良くなってハイタッチを何度も交わしたりと、乗継待ちの時間を充実したものとされておりました。

そして台北から9時間のフライトを経て、ついにブリスベンに到着いたしました。空港に着いた頃にはさすがに疲れが見られましたが、さっそくクイーンズランド大学に訪問し、現地学生に案内されてのキャンパス見学、そして現地学生が普段使うカフェテリアで昼食を買うなど、さっそく盛沢山な内容となりました。学生もそれぞれに様々なバックグラウンドを持っており、台湾から薬学を学びに来た男性（しかも日本語を少し話せました）、イタリアから博士号を取りにきた女性、そして茨城から留学してきたという日本人学生など、さすがに多様性にあふれたオーストラリアの大学キャンパスの一端に触れることができました。生徒たちの多くはまだ日本でも大学訪問などはしたことがないということ、またクイーンズランド大学が東大や京大といった大学と同様に評価されるととても良い大学（TIMESの世界大学ランキングで69位）であるということ、さらには到着直後であることで少々緊張感もある中、まだ全員がといったわけではないですが積極的に発言する生徒の姿も見られ、オーストラリアでの研修に向けた意気込みが感じられました。研修中の目標として積極的な行動を掲げる生徒が多かったので、ぜひこの勢いを継続していただきたいと思います。

なおクイーンズランド大学訪問後は、この日最大のイベント、ホストファミリーとの対面です。今年は40名という大所帯のため、Corinda State High School と Park Ridge State High School の2か所のホストスクールに20名ずつに分かれ、それぞれのホストスクールでファミリーへの対面、そしてステイ先に向かいました。直前はかなり緊張した様子も見られたのですが、ファミリーと会った際には笑顔があふれており、こちらも安心して生徒たちを送り出しました。また明日ファミリー宅での様子を生徒たちから聞くのを楽しみに待ちたいと思います。

それでは本日の報告は以上とさせていただきます。

■出発式の様子



■機内





■クイーンズランド大学



■クイーンズランド大学（少人数のグループで見学）





■ホストファミリーと念願の対面

